

2026年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月10日

上場会社名 株式会社ティムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 酒井 誠一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 荻原 浩二 TEL 03-5600-0122  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第1四半期の業績（2025年12月1日～2026年2月28日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第1四半期	860	12.0	△22	—	△19	—	△27	—
2025年11月期第1四半期	768	3.9	△37	—	△33	—	△39	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第1四半期	△10.91	—
2025年11月期第1四半期	△16.08	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年11月期第1四半期	5,409	4,306	79.6	1,738.99
2025年11月期	5,463	4,366	79.9	1,763.06

（参考）自己資本 2026年11月期第1四半期 4,306百万円 2025年11月期 4,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年11月期	—	—	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,572	11.0	28	—	36	—	16	—	6.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年11月期1Q	3,339,995株	2025年11月期	3,339,995株
② 期末自己株式数	2026年11月期1Q	863,588株	2025年11月期	863,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年11月期1Q	2,476,433株	2025年11月期1Q	2,476,514株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績見通し等に関する事項は、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自2025年12月1日 至2026年2月28日)における日本経済は、政府による物価高対策なども影響し、景気は緩やかな持ち直しが見られました。その一方で、物価上昇や地政学リスク、不安定な為替の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の関わるアウトドア関連産業のうち、釣用品市場においては物価高などによる消費者の節約志向の影響を受け、高価格帯の商品を中心に依然として厳しい状況が続いております。その一方で、アウトドア衣料品市場においては、防寒衣料を中心に販売が比較的好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社では収益確保に向けた商品の販売強化などの取り組みを行った結果、当第1四半期の売上高は8億60百万円(前年同期比12.0%増)となり、営業損失は22百万円(前年同期間 営業損失37百万円)、経常損失は19百万円(前年同期間 経常損失33百万円)、四半期純損失は27百万円(前年同期間 四半期純損失39百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### (フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、流通在庫の調整局面はある程度解消に向かったものの、物価高などによる消費者の節約志向の影響を受け、高価格帯の商品を中心に依然として厳しい状況が続いております。フライ用品については、フライフック(釣りばり)など一部の商品を除き全般に販売が苦戦いたしました。また、ルアー用品については、ルアー(擬似餌)の輸出は伸びたものの、高価格帯のロッド(釣竿)を中心に国内での販売が苦戦しました。その一方で、昨年5月に発売開始した国産の熊撃退スプレーの販売は引き続き好調に推移しました。

その結果、当第1四半期におけるフィッシング事業の売上高は1億84百万円(前年同期比10.3%増)となりました。その一方で、円安や原価高騰による売上総利益率の低下や人件費をはじめとした各種経費の増加が影響し、セグメント損失(営業損失)は12百万円(前年同期間 セグメント損失9百万円)となりました。

#### (アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、全体的に平均気温が高めに推移したものの、防寒着の需要期にあたる1月において気温が低下したことも影響し、ジャケット類や防寒小物の販売が好調に推移しました。また、当第1四半期においては前期中に防寒衣料を潤沢に仕入していたことも奏功いたしました。

その結果、当第1四半期におけるアウトドア事業の売上高は6億70百万円(前年同期比12.7%増加)となりました。また、売上高増加に加え売上総利益率が若干改善した影響により、セグメント利益(営業利益)は39百万円(前年同期比148.8%増)となりました。

#### (その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期に関しては賃貸面積の減少により、その他売上高は4百万円(前年同期比18.3%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ53百万円減少し54億9百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響などによる商品の増加2億31百万円などの一方で、受取手形及び売掛金の減少1億69百万円や現金及び預金の減少78百万円、電子記録債権の減少23百万円などの影響により、前事業年度末に比べ37百万円減少し36億57百万円となりました。

固定資産は、有形及び無形固定資産の減価償却などによる減少9百万円や投資有価証券の減少2百万円、その他に含まれる繰延税金資産の減少3百万円などにより、前事業年度末より16百万円減少し17億52百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ5百万円増加し11億3百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加3億26百万円などの一方で、電子記録債務の減少2億70百万円や未払法人税等の減少17百万円、その他に含まれる未払金の減少11百万円及び未払費用の減少16百万円、返金負債の減少6百万円などにより、前事業年度末に比べ8百万円増加し8億60百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の減少2百万円などにより、前事業年度末に比べ2百万円減少し2億42百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末より59百万円減少し43億6百万円となりました。これは主に、四半期純損失27百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円、その他有価証券評価差額金の減少2百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の中東情勢に伴い、一部の仕入先から原材料価格の値上げや資材の調達懸念などの情報があがってきておりますが、現時点で通期の業績予想につきましては、2026年1月16日発表の「2025年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,188,850	1,110,821
受取手形及び売掛金	615,204	445,866
電子記録債権	73,998	50,351
有価証券	99,333	99,444
商品	1,624,324	1,856,240
その他	94,647	97,702
貸倒引当金	△970	△2,559
流動資産合計	3,695,388	3,657,868
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	407,842	398,707
土地	653,376	653,376
その他(純額)	11,519	12,730
有形固定資産合計	1,072,738	1,064,814
無形固定資産	35,988	34,484
投資その他の資産		
投資有価証券	592,704	589,760
その他	66,825	62,966
投資その他の資産合計	659,529	652,726
固定資産合計	1,768,256	1,752,025
資産合計	5,463,645	5,409,893
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,094	388,180
電子記録債務	532,093	262,035
未払法人税等	28,753	10,826
賞与引当金	1,300	9,397
その他	228,176	190,125
流動負債合計	852,417	860,565
固定負債		
退職給付引当金	185,099	182,866
その他	59,999	60,006
固定負債合計	245,098	242,873
負債合計	1,097,516	1,103,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,804,983	3,775,266
利益剰余金	△32,960	△59,980
自己株式	△478,135	△478,205
株主資本合計	4,373,886	4,317,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,758	△10,625
評価・換算差額等合計	△7,758	△10,625
純資産合計	4,366,128	4,306,454
負債純資産合計	5,463,645	5,409,893

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
売上高	768,144	860,245
売上原価	432,971	479,977
売上総利益	335,173	380,268
販売費及び一般管理費	372,349	402,588
営業損失(△)	△37,176	△22,320
営業外収益		
受取利息	1,640	2,404
為替差益	1,458	392
その他	138	73
営業外収益合計	3,237	2,870
営業外費用		
その他	16	-
営業外費用合計	16	-
経常損失(△)	△33,955	△19,449
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純損失(△)	△33,955	△19,449
法人税、住民税及び事業税	3,545	3,767
法人税等調整額	2,313	3,803
法人税等合計	5,859	7,571
四半期純損失(△)	△39,814	△27,020

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第1四半期累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	167,463	595,156	762,620	5,523	—	768,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	167,463	595,156	762,620	5,523	—	768,144
セグメント利益又は損失(△)	△9,359	15,706	6,346	4,290	△47,813	△37,176

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,813千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	184,785	670,946	855,731	4,513	—	860,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	184,785	670,946	855,731	4,513	—	860,245
セグメント利益又は損失(△)	△12,698	39,077	26,379	3,308	△52,007	△22,320

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△52,007千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	16,231千円	12,599千円